

# たんちょう通信

～ 第 44 号 ～



丹羽 孝直

新年あけましておめでとうございます。丹頂ガスの丹羽です。年末の忘年会で、私が毎月勉強に行っている「大阪あきない道場」のスタッフさんが企画した、「年末を大笑いして楽しく新年を迎えよう」と「なんばグランド花月」で「吉本新喜劇」を見に行きました。代表の佐藤先生に小4の娘が「吉本新喜劇」の大ファンなので、家族も連れて来て良いかをお願いをしたところ、快く了承して頂きました。お陰様で、年末最後に家族揃って、楽しく過ごすことができました。娘は辻本茂雄さんの「はげ頭の茂爺」の大ファンですが、その日の座長は「大柄の女の子(体重95kg)酒井藍ちゃん」でした。「藍五郎の、家族の願いを叶えるそう!？」※放送は2月2日(土)12:54～13:54(毎日放送)めちゃくちゃ面白かったです。涙が出るほど、お腹を抱えながら笑いました。みんなもずっと笑っていました。笑っているときが一番楽しいし、人が輝いてみえるときですよ！近年、吉本興業は「大阪国際がんセンター」と協力して、漫才や落語による「笑い」が、がん患者に与える影響を調べる実証研究に取り組んでいるそうです。実際、一部の患者からは、免疫力が向上するほか、緊張や疲労といった心身の状態も改善したことが確認できたそうです。また、「笑い」は痴呆の予防にいいそうです。「笑う門には福来る」と諺があるように、「笑い」は私たちの生活に欠かせないもので、とても大切なことです。去年は、自然災害が多く発生しました、去年の言葉も「災」でした。年々災害の被害が大きくなってきていますが、私たち丹頂ガスは、社員一丸となって「地域防災」に努めて参ります。今年も、「災い」から「笑い」へ変えていきたいですね。今年一年が無事に過ごせますように、そして、皆さまにとって、幸多い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。感謝



# 社員紹介コーナーです!!



皆様こんにちは、三重北地域を模索しています。西浦幸奈です。

5年前の冬の話です。私は、ゆきなじみから「みんなと一緒にスノボに行こう!!」と誘われました。私はスノボをするのが初めてで、又子の妹が「最初は、立つのが難しいよ」と教えてくれました。「バランス感覚のない私ができるのかなあ?」と不安で最初は、ことわっていました。でもベッコが「ちゃんと教えるから大丈夫だよ」と言ってくれたので、勇気をもってスノボに行くことにしました。

早朝の人が少ないのをわかって朝ら時のまっくらな時間にスキー場へむけて出発しました。

到着後、早速、立つ練習をしました。最初は、平坦の所で見本をみせてくれました。平地では、すぐに立てたので「簡単じゃん!!」と思っていました。でも斜面では、うまく立てませんでした。立とうとしてもこわくて足がすくみ立つことができませんでした。何回挑戦しても上手に立つことができないので私は「もう無理だし、恐いできない」とあきらめかけて「もう帰りたい」と言いました。しかしベッコが「大丈夫。ゆきなだ、たらできるよ」とはげましてくれました。ベッコがはげましてくれるのであきらめないで頑張ろうと思ひ練習をしました。すると少しずつコツをつかむことができるようになり立つことができ、私は、すごく嬉しかったです。

午後からみんなと一緒にリフトに乗ることができスノボを楽しむことができました。でもなれていなかったのでもたくさんこけました(笑)

あきらめないで練習をして本当に良かったと思ひました。初心者の私にずっと付きそって教えてくれたベッコにとても感謝しています。



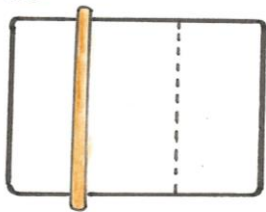
西浦幸奈



## 防災豆知識コーナー

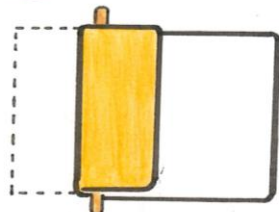
## 簡易毛布担架の作り方

①



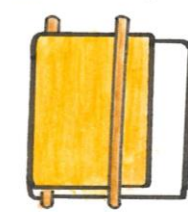
毛布をひろげて3分の1の幅のところに棒を置きます。

②



毛布の短いほうのはじを、棒のところで折り返します。

③



折り返した上に、2本目の棒を置き、反対側のはじを折り返します。

④



毛布担架の完成。人を乗せたら、水平を保ち、足の方から運びましょう。